

みやざきインフラモニタリング研究会

Association for MIYAZAKI Infrastructure Monitoring System (MIMOS)

設立趣意書

1 インフラモニタリングとは

インフラモニタリングとは、社会インフラの損傷・劣化の状態監視、災害時の被災評価、補修効果の確認などを行うために、センサーや通信・データ解析技術を活用するものです。社会インフラ施設が充実し、維持管理の時代に入った現在、社会インフラ施設を安全、安心な状態に保つためには、効率的にインフラを監視していくことから逃れられず、インフラモニタリングの本格的な実用化に期待が高まっています。

2 研究会の目的

平成 25 年「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進することが叫ばれています。ここ宮崎でも、山間部が多い地域特性に配慮しながら、台風・地震などの自然災害に対応した取り組みが必要とされます。

そこで、「みやざきインフラモニタリング研究会」は、橋梁等の重要なインフラのモニタリングに関するフェジビリティスタディを重ねることで、宮崎での実用化・導入に向けた実践的な研究を行うことを目的とし、

- (1) 損傷・劣化の状態監視を行うためのセンサー等の計測技術
- (2) 新設及び既設構造物へのセンサー等の設置工法
- (3) 計測データを収集・伝送する通信技術、ネットワーク構成
- (4) 計測データの分析・評価技術
- (5) システム全体の保守技術、導入・運用コスト

について検討します。

なお研究成果は各自治体施設管理者の方々等に積極的に発信することで、宮崎の社会インフラ管理技術の高度化を支援し、安全・安心な暮らしに貢献します。

九州通信ネットワーク株式会社
株式会社 共同技術コンサルタント

3 みやざきインフラモニタリング研究会メンバー

役職	氏名	所属	研究会における主な担当
会長	中澤 隆雄	宮崎大学 名誉教授、宮崎コンクリート研究所所長	総括
副会長	辻 利則	宮崎公立大学 人文学部国際文化学科 (メディア・コミュニケーション) 教授	情報通信
委員兼幹事長	松永 昭吾	(株)共同技術コンサルタント福岡支店長	分析・評価技術
委員兼副幹事長	松崎 真典	九州通信ネットワーク(株)執行役員 サービス開発部長	情報通信
委員兼幹事	葛西 昭	熊本大学 大学院自然科学研究科 准教授	分析・評価技術 (鋼構造)
委員兼幹事	尾上 幸造	宮崎大学 工学教育研究部社会環境システム工学科助教	分析・評価技術 (コンクリート構造)
委員兼幹事	黒木 隆二	(株)共同技術コンサルタント本社技術部次長	分析・評価技術
委員兼幹事	利光 司	九州通信ネットワーク(株)技術本部 部長 (技術企画担当)	情報通信
委員	長友 信裕	アボック(株)代表取締役社長	情報通信
委員	久保田英二	(株)ジオテックホールディングス イノベーション事業部専務取締役	建設資材
事務局長	甲斐 久幸	(株)共同技術コンサルタント本社営業部長	広報
事務局	大寺 重樹	元宮崎県県土整備部都城土木事務所長	社会インフラ管理行政
	奥野 博史	元国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所長	社会インフラ管理行政
	小城 文男	元宮崎県県土整備部ダム対策監	社会インフラ管理行政